### 優良実践

令和2年度 優良実践校の取組

# 膜がれた に

## 具庭市立中和小学校

和いきいき学習」です。 むな学びを展開するのが、「中 ないきいき学習」です。 にして、特色ある学校づくり・開この「中和いきいき学習」を核 自然、歴史、文化、そしてそこで数24名の小規模校です。中和の本校は、鳥取県境に接し、児童

「中和いきいき学習」で付けたい力

中和いきいき学習で付けたい力

「学びに向かう力、人間性等」

3 自己を見つめ ともによりよく生きる力

自己を見つめる力 学習を振り返り、自分の生活につ なげて考える。

「思考力・判断力・表現力等」

2 自ら考え 探究し学び合う力

かれた学校づくりを行いました。

2

展していくために、年度初め 中和いきいき学習」を

> がら進めてきた取組について紹や地域の方々の力をお借りしな 介します。 この共通理解を基に、保護者

和いきいきプロデューサー」といき探検隊」、中学年は「中和いき探検隊」、中学年は「中和いき間を使って、低学年は「中和いきし、生活科や総合的な学習の時せ、生活科や総合的な学習の時せ、生活科を総合的な学習の時共有し、さまざまな体験活動を共有し、さまざまな体験活動を (1)「中和いきいき学習」の取組 して活動しています。

の方々との交流会として実施表会、後半を児童・保護者・地域き学習」での学びを発信する発この会は、前半を「中和いきい に行うのが「ふるさと学習発表より深化する場を確保するため 会・交流会」です。 その学びを発信するとともに、

有成を目指す資質・能力

1 ものを見る目と気付く力 ① 豊かに盛じる力 様々な感覚を使い事物に 関る。

> 児童を指導するのかといったこそのために教師はどんな視点で とを全教員が確認・共通理解す ることからスタートしました。 いき学習」をなぜ行い内研修において、 な子どもを育成するの 行うの 中 か、 か

(2)学びの継続の工夫

習内容を今年度中に決めておき

任が替わったりしても、すでにの結果、下学年が加わったり、担同じクラスにとどまります。そ年の児童は、学年が上がっても 主体的・継続的な学びがスム 学習内容は決まっているので、 5・6年)である本校では、4月複式学級(1・2年、3・4年、 ズにスタートできます。 になると下学年であった奇数学

めに、地域の人材が積極的にた、より質の高い教育を行う 議会制度)を取り入れました。まュニティ・スクール(学校運営協 本校は、令和元年度から、コミ(3)開かれた学校づくりの取組 **》加したり、学識経験の人材が積極的に教の高い教育を行うた** 

> いただいたりしています。内研修・研究授業等に参画者や地域の方々をお招きし きして校

見つけ、発表会以降の学習に生点での気付き・発見により、新た点での気付き・発見により、新た点がの確認や今までとは違う視がことができます。また、自身のむことができます。また、自身の 半の発表について感想や意見を直接保護者や地域の方々から前しています。交流会では、児童は かすことができます。 [き、より大きな達成感や自己

表会・交流会」も児童の体験活動つまり、この「ふるさと学習発 つとして位置づけています

令和2年度より校内研究等に地域の方も参画

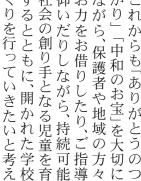
令和2年度から校内研究等に地域の方も参画

今年度の活動を基に次年度の学ために、「中和いきいき学習」は、 主体的・継続的な学びを行う

### 3

います。 「中和」だからできる教育だと思特性を尊重する人々が暮らす な自然と長い歴史や文化、 て、そこに暮らす未来志向 性を尊重する人々が暮ら 中和いきい き学習」は、 、そ豊しか で多

でいるでは、関かれた考えているでは、「中和のお宝」を大切にながら、持続可能を仰いだりしながら、持続可能を仰いだりしながら、持続可能を仰いだりしながら、保護者や地域の方々のお力をお借りしたり、ご指導のお力をおけるともに、開かれたうのでは、



木田 訓 祥